

研究課題名	食道胃接合部癌における扁平上皮下進展の術前診断能の検討
研究の意義・目的	現在、食道胃接合部癌に対する内視鏡的粘膜下剥離術(ESD)の有用性が報告されていますが、扁平上皮円柱上皮接合部に接する病変口側への扁平上皮下進展により範囲診断が難しいとされており、ESD時に側方断端陽性となることが問題視されています。側方断端陽性となると、癌が再発する可能性や、追加の外科的治療が必要となる可能性があります。扁平上皮下進展の術前診断について検討することで、食道胃接合部癌のESD時に断端陰性となるような診断法について検討できると考えられます。それにより、患者さんの負担の軽減に寄与するものと考えます。
研究を行う期間	研究機関の長の実施許可後～2025年12月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2015年1月から2021年12月の間に、大阪公立大学医学部附属病院消化器内科において、食道胃接合部癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた情報を本研究に使用させてください。  使用する情報：病歴、診断名、年齢、性別、検査日、既往歴、基礎疾患、内視鏡検査結果、診断、存在部位、肉眼型、切除標本径、組織型、深達度
試料・情報の他機関への提供	研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者：永見 康明
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。  本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学 担当者氏名：眞鍋 琢 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話 06-6645-3811 FAX 06-6645-3813